

税務大学校租税史料館の概要

税務大学校研究部（租税史料館） 山田 真介

1 沿革

国税庁では「全国に散在する貴重な資料を確保し、かつその集中的管理を行い、租税制度の研究に資する」ことを目的として、昭和42年7月に租税史料の収集に着手し、翌43年6月には国税庁の研修機関である税務大学校若松町校舎内（東京都新宿区若松町）に租税資料室を設置しました。

平成10年7月、税務大学校の校舎移転に伴い、租税資料室は和光校舎において租税史料館としてリニューアルオープンし、それまでに収集した税に関する貴重な史料の集中管理や一般公開のための展示を行っています。

また、専門のスタッフにより収集した史料の歴史的考察や、租税制度に関する研究を行っています。

2 所蔵史料の概要

当館の所蔵する史料としては、国税庁・国税局・税務署などからの移管史料と民間等個人からの寄贈史料が挙げられます。これらの史料は、租税史や税務行政の歴史を考察する上で、欠かすことのできない大変貴重なものとなっています。

平成17年3月現在の所蔵史料は、近世から現代までの古文書・文書・図書・絵図・器具・視聴覚史料など、あわせて14万点以上にのぼりますが、順次『租税史料目録』に掲載し、目録を全国の公文書館、史料館、大学や公立図書館などに配付することによって、一般に閲覧できるようにしています。

ここでは主な史料群（個人からの寄贈史料を含む）の一部を紹介します。

主な史料	史料の概要
<p>I) 国税局・税務署旧蔵史料</p> <p>○仙台国税局旧蔵史料</p> <p>○木曾税務署地籍図</p> <p>○雑誌『税』</p> <p>○雑誌『財政』</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台国税局より移管された史料群。地租改正前後における東北地方の納税状況を伝えるものや、福島県を中心とした地租改正に関する史料(布達・上申・伺類、地税帳・地券大牒等)、昭和期の土地賃貸価格調査に関する史料が多い。 ・木曾税務署より移管された史料。明治22年から昭和2年の間に作成された長野県西筑摩郡(現木曾郡)地域の地籍図が中心。 ・国民租税協会発行。大正期～昭和戦前に発行された租税に関する一般啓蒙誌。第1巻第1号(大正12年7月)～第21巻第6号(昭和18年6月)。欠号あり。 ・財団法人大蔵財務協会の機関誌。戦前戦後の租税史・財政史を考える上で貴重な史料。第1巻第1号(昭和11年10月)～第24巻第13号(昭和34年12月)。欠号あり。
<p>II) 寄贈史料</p> <p>○岩田文書</p> <p>○今泉清家文書</p> <p>○入間幸補家文書</p> <p>○「地券の館」コレクション</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・明治30年から大正10年頃までの地租、所得税、営業税など直税関係史料が多く、特に明治43年の宅地地価修正関係の史料が充実している。 ・群馬県桐生市桐生(上野国山田郡蕪町村)の名主家史料。天和元年～明治5年までの年貢割付状など、年貢関係史料が中心。 ・出羽国村山郡入間村(現山形県西村山郡西川町)で名主を務めた入間家に伝わる名主家史料。江戸時代初期から昭和戦前期に至るまでのもの。 ・埼玉県朝霞市にあった私立博物館「地券の館」のコレクション史料。壬申地券、改正地券、地券収納用の木箱など用具類、近世・近代の金融関係史料など。

3 所蔵史料の利用について

租税史料を利用する場合は、まず、史料を特定する必要がありますので、租税史料館が発行している「租税史料目録」または税務大学校ホームページ上の「史料検索」のコーナーで所蔵史料を確認してください。

特定主題に関する租税史料の紹介や特定の租税史料に関する書誌的な質問への回答などは電話で行っています。

① 閲覧申請（閲覧は無料）

租税史料を利用する場合は、「租税史料閲覧申請書」に所定の事項を記載のうえ、窓口へ提出してください（その際、本人確認ができるものを提示していただく必要があります）。

② 複写・撮影申請（複写・撮影の費用は利用者の負担）

閲覧した租税史料の複写・撮影を行う場合は、「租税史料複写・撮影申請書」に所定の事項を記載のうえ、窓口へ提出してください。

③ 貸出申請（貸出に要する運賃等の費用は利用者の負担）

原則として租税史料の貸出は行っていませんが、図書館、博物館、資料館等が展示に利用する場合で、その利用が納税意識の高揚に役立つと認められる場合に限り貸出を行う場合があります。

④ 復刻・掲載許可申請

当館所蔵の租税史料の復刻・掲載を行う場合は、「租税史料の復刻・掲載許可申請書」に所定の事項を記載のうえ、窓口へ提出してください（その際、「租税史料の復刻・掲載に関する誓約書」も提出していただく必要があります）。



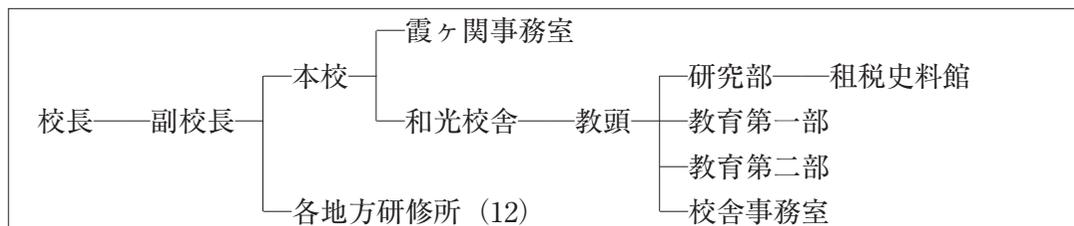
データシート

(平成17年3月末現在)

- ・機関名：税務大学校租税史料館
- ・所在地：〒351-0195 埼玉県和光市南2丁目3番7号
- ・電話：048-460-5300 F A X：048-467-1986
- ・http://www.ntc.nta.go.jp/ (税務大学校ホームページ)
- ・交通：①東武東上線・東京メトロ有楽町線 和光市駅下車
 東武バス約10分 (司法研修所循環⇒税務大学校下車)
 西武バス約10分 (大泉学園駅北口行き⇒税務大学校下車)
- ②西武池袋線 大泉学園駅下車
 西武バス約15分 (和光市駅南口行き⇒税務大学校下車)
- ・開設年月日：昭和43年6月1日
- ・設置根拠：国税庁事務分掌規程第194条、税務大学校事務分掌規程第16条
- ・組織：

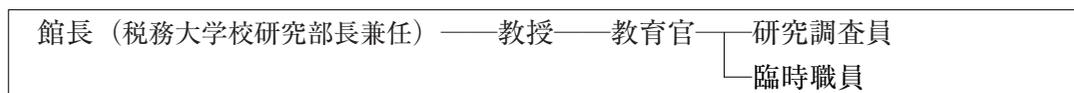
① 税務大学校の機構

租税史料館は、国税庁職員の研修機関である税務大学校和光校舎内に位置し、税務大学校の研究部に属する。



② 租税史料館の事務運営体制 (平成17年4月1日現在)

租税史料館の従事員は、館長以下、教授1名、教育官1名及び研究調査員7名(非常勤)のほか、史料整理のための臨時職員(アルバイト)が若干名となっている。



- ・建物：地下・・・史料保管庫 (移動式書架・貴重書庫など/354㎡)
- 1階・・・エントランスホール
- 事務室 (受付窓口・閲覧スペース・事務室など)
- 説明室 (AV設備/72名収容可)
- 2階・・・展示室 (常設展示・特別展示スペースなど/331㎡)